



しちのへ 議会だより

2022年

NO. 68

令和4年5月1日発行

青森県七戸町議会

広報編集特別委員会



子育てのまちを目指して！「子どもの笑顔はみんなの願い」

町では、子どもに、そして妊婦のみなさまに笑顔でいてほしい。そんな町を目指し、子育てのサポートができるように、保健師による赤ちゃん訪問をはじめ様々な支援や制度を設けています。

写真は、佐藤詩心（うたな）ちゃん。生まれてまだ4カ月。でもその瞳には、凛とした強さを感じました。大切な命を地域全体で守っていきたいですね。

3 月 定 例 会

定例会の主な審議内容	2～3
「教えて！にんに君」	2
予算審査特別委員会	4～5
一般質問に6人登壇	6～13
委員会の動き	14

3月 定例会

主な審議内容

議案

令和4年第1回定例会は3月1日に開会し、白石洋議会運営委員長の報告の
 とおり、会期を9日までの9日間と決定しました。
 1日は、町長の提案理由説明、予算審査特別委員会を設置、2日・3日は一
 般質問(6人)、4日・8日は特別委員会で予算審査、最終日の9日は議案審
 議を行いました。

○職員(育児休業等)に関する条例の改正
 非常勤職員の育児休業・介護休暇等の取得要件の緩和等について、国家公務員と同様の措置を講ずるため、所要の改正をするものです。
 ☆全会一致で可決

○ひとり親家庭等医療費給付条例の改正
 児童扶養手当法施行令及び特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令の一部を改正する政令の公布に伴い、所要の改正をするものです。
 ☆全会一致で可決

○消防団条例の改正

消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律第13条に掲げる必要な措置を実施するため、地方自治法第203条の2第1項及び第3項に規定する非常勤消防団員の報酬について、所要の改正をするものです。
 ☆全会一致で可決

☆全会一致で可決

○交通遺児基金条例の廃止
 道路交通事故に係る情勢の変化に伴い、条例の社会的役割を終えたことから、条例を廃止するものです。
 ☆全会一致で可決

○過疎地域持続的発展計画の変更
 事業の追加により計画の変更をするものです。
 ☆全会一致で可決

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正
 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正す

○下水道条例の改正

特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律による下水道法改正に伴い、所要の改正をするものです。
 ☆全会一致で可決

○人材育成基金条例の廃止
 ふるさと創生基金等を活用した人材交流事業や海外派遣事業等の事業を終了したことに伴い、条例を廃止するものです。
 ☆全会一致で可決

○町道路線の認定

道路法の規定に基づき、2路線を認定するものです。
 ☆全会一致で可決

○七戸町営住宅条例の改正
 町営蛇坂団地5棟10戸が完成したことに伴

☆全会一致で可決

○令和3年度補正予算(左表参照)

☆全会一致で可決

「教えて! にんに君」コーナー

皆さん、こんにちは。議会についての?をにんに君が毎回わかりやすく解説していきます。

Vol.6 「委員会にはどんな種類があるの?」

今回は、議会で行われている「委員会」についてお話しします。「委員会」は、大きく「常任委員会」「議会運営委員会」「特別委員会」の3つに分けられます。

○常任委員会…七戸町議会では常に3つの委員会が設置されています。

- ・総務企画常任委員会
 …財政、総務、税、選挙、消防など
- ・建設産業常任委員会
 …土木、建設、住宅、上下水道など
- ・文教厚生常任委員会
 …教育、福祉、健康、子育てなど

○議会運営委員会…議会の運営について話し合います。

○特別委員会…特定の重要な事項を集中的に話し合います。

このように、町議会では目的に応じてさまざまな会議が行われています。



●常任委員会
 常に次の3つの委員会が設置されており、それぞれの分野について話し合う。

- ・総務企画常任委員会
- ・建設産業常任委員会
- ・文教厚生常任委員会

●議会運営委員会
 議会の運営について話し合う。

●特別委員会
 特定の重要な事項について話し合う。

ことばのヒント！ 質疑・一般質問って？

学生：「質疑」と「一般質問」ってどう違うのですか？

先生：質疑とは、提案された議案に対する質問、一般質問とは、町政全般に対する質問と使い分けています。

学生：でも、質問という点は、一緒じゃないですか？

先生：そんなことはありません。質疑とは、議案に対する賛否の決定ができるように、不明確な点について、提出者の説明をただすための質問であり、賛否について自分の意見は言えないことになっています。

学生：なんとなくわかりました。

先生：ちなみに、一般質問では「事前通告制」といって、発言の要旨などを記載した文書をあらかじめ議長に提出する決まりとなっています。

学生：なんで？？いろいろなことを好きに質問したらいいのではないですか。

先生：そうですね、でも、質問する議員も、町全体で関心となっている事項についての問題点や注意点など、様々な情報を収集しなければならないし、答弁する町側としてもその現状や解決策など、大まかな方向性を示さなければならないため、このような制度になっているのです。

学生：ん…、もっと質問したい場合はどうするのですか？

先生：そこで、委員会でもより詳細な質問が行われるのです。

報 告

○専決処分事項の報告
《令和3年度予算関係》

- ・一般会計補正予算（第13号）
- ・一般会計補正予算（第14号）

☆全会一致で承認

特 別 審 査 報 告

○付託案件の審査結果
「議員定数削減について、3月定例会までを期限として、議会改革特別委員会付託の上、審査されたい」件については、6月定例会まで

追 加 議 案

○令和3年度一般会計補正予算（第17号）

3 1 7 2 万 4 0 0 0 円を追加し、総額を 1 5 億 7 5 2 6 万 2 0 0 0 円とするものです。

☆全会一致で可決

発 議

○令和4年度予算（下表参照）

☆全会一致で可決

○教育委員会委員の任命の同意

教育委員会委員に盛田元之氏を任命するためのものです。

☆全会一致で同意

発 議

○水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出

☆原案可決

追 加 議 案

○国民健康保険税条例の改正

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令の公布に伴い、所要の改正をするものです。

☆全会一致で可決

を期限として継続審査とする。

区 分	補 正 額	予算総額
一 般 会 計	1,030万7千円	115億4,353万8千円
特 別 会 計	国民健康保険	△592万2千円
	後期高齢者医療	△49万5千円
	介護保険	△21万5千円
	介護サービス事業	△278千円
	七戸霊園事業	△306万6千円
	公共下水道事業	△679万0千円
計	△201万4千円	7,026万9千円
水 道 事 業 会 計	収益的収入	159万7千円
	収益的支出	△1,363万1千円

区 分	令和4年度	令和3年度（当初予算）	差引増減	
一 般 会 計	117億5,690万6千円	96億8,848万8千円	20億6,841万8千円	
特 別 会 計	国民健康保険	18億1,934万4千円	18億5,677万2千円	△3,742万8千円
	後期高齢者医療	4億2,800万9千円	4億1,637万2千円	1,163万7千円
	介護保険	27億3,988万0千円	26億8,312万1千円	5,675万9千円
	介護サービス事業	509万8千円	530万2千円	△20万4千円
	七戸霊園事業	824万7千円	773万0千円	51万7千円
	公共下水道事業	4億9,885万6千円	3億9,764万6千円	1億0,121万0千円
計	7,994万1千円	6,123万3千円	1,870万8千円	
水 道 事 業 会 計	収益的支出	3億0,711万9千円	収益的支出 3億0,341万6千円	収益的支出 370万3千円
	資本的支出	3億7,275万7千円	資本的支出 3億2,179万0千円	資本的支出 5,096万7千円

定例会・臨時会での主な感染症対策

- ・会議室入出時の手指消毒、マスク着用・ドアや窓を開放しての会議室の換気・傍聴者に感染症対策への協力を要請
- ・風邪症状がある場合の会議出席自粛 ※但し、議長が許可する場合は、この限りではありません。



令和4年度

当初予算 決定

**一般会計支出総額
117億5,690万円の使い道や
7特別会計・水道事業会計を審査**

令和4年度の一般会計、特別会計等の予算を審査する予算審査特別委員会（三上正二委員長、委員14人）が3月4日、8日に開かれました。審査の結果すべて可決となりました。委員から出された質疑の一部（一般会計のみ）を要約してお知らせします。

予算審査 特別委員会報告



副委員長
小坂 義 貞



委員長
三上 正 二

3月議会に提案された令和4年度一般会計・特別会計等の予算は、議長を除く全議員をもって構成した予算審査特別委員会を設置し、それぞれの担当部署から説明を受け慎重審査をいたしました。

その結果、新型コロナウイルスの地域経済へ大きな打撃を与えたが、その対策が予算に反映されているのか、多くの質疑がありました。しかし、健全かつ適正に予算が編成されていることを確認しました。

〇歳 入

地方交付税について

問 晰 清悦委員

公立七戸病院があることによる交付税算入は。

答 附田財政課長

令和3年度実績、3億7722万円が需要額として算定されております。

計上いたしました。

人事給与管理システム及び人事評価システム利用料について

問 佐々木寿夫委員

内容は。

答 田嶋総務課長

平成4年度は、5年に1回の契約見直しの年です。それに併せて、人事評価システムを導入することにより、適正な人事評価及び管理ができるということですので。

一般寄付金について

問 田嶋 輝雄委員

寄付金の内訳は。

答 田嶋総務課長

2019年976件、約2440万円。2020年2155件、約4596万円、2021年、現時点では270件、約5800万円です。

〇歳 出

ふるさと納税返礼品について

問 佐々木寿夫委員

昨年当初予算より増額となっているが、見直しは。

答 田嶋総務課長

ふるさと納税の見込みを6000万円と試算し、その3割、1800万円

dボタン自治体広報利用料について

問 佐々木寿夫委員

内容は。

答 金見企画調整課長

テレビのリモコンにデータ放送ボタンがありません。今回は、ABA青森朝日放送と町の情報が表示できるように契約するためのものです。

指定金融機関等取扱手数料について

問 佐々木寿夫委員

昨年当初予算より大幅な増額となっている理由は。

答 高田会計課長

令和4年度から税金、

住宅料などの公共料金がコンビニ収納ができるようになりまます。その手数料を計上しております。

ゼロカーボン総合戦略策定業務委託料について

問 山本 泰二委員

業務内容は。

答 金見企画調整課長

令和3年度は基礎調査を行いました。令和4年度は今後の再生可能エネルギーの導入計画や省エネルギーに取り組み案を策定いたします。

自主防災組織設置等補助金について

問 田嶋 輝雄委員

昨年度の予算にはなかったが、計上した理由は。

答 田嶋総務課長

8月の大雨による災害時、地域住民の協力を助けられました。とても大切なことであり、町内会や集落単位で活動できるように計上いたしました。

地域おこし協力隊報奨金について

問 小坂 義貞委員

昨年当初予算より大幅

な減額となっている理由は。

答 金見企画調整課長

令和3年度は5名の協力隊員が活動しており、任期満了等がありまして、令和4年度は3名分計上しております。

空き家・空き地利活用事業費補助金について

問 佐々木寿夫委員

事業内容は。

答 金見企画調整課長

町では空き家バンクを設置しておりますが、登録されている物件の活用が進むように補助するということです。

中部上北広域事業組合負担金(病院)について

問 佐々木寿夫委員

昨年当初予算より増額となっている理由は。

答 井上健康福祉課長

七戸病院の経営改善のために、4年間、基準外の操出金を繰り出すという事で増額となっております。

健康診査等委託料について

問 山本 泰二委員

昨年当初予算より減額

となっているが内容は。

答 井上健康福祉課長

婦人健診、子宮がんや乳がん検診が2年に1回という指針により、それに合わせた計上です。

収入保険加入促進事業費補助金について

問 中野 正章委員

事業内容は。

答 鳥谷部農林課長

米価の急激な下落や野菜等、価格低迷を受けたため、1経営者当たり加入につき、1回補助するもので、保険料と付加保険料に対し50%の補助を考えております。

森林レーザ計測及び森林資源解析業務委託料について

問 山本 泰二委員

業務内容と森林の活用の方向性は。

答 鳥谷部農林課長

令和3年度で森林ビジョンを策定し、町の森林の詳細な状況把握のために行うものであり、調査対象面積は76平方キロメートルです。今後は森林環境譲与税を使いながら伐期計画や保存計画を整

備していかねければならないと考えております。

有害鳥獣被害対策実施隊年報酬について

問 盛田恵津子委員

少額と感じるが。

答 鳥谷部農林課長

立ち上げ当時は、消防団等の兼ね合いなども加味しながら計算しておりましたが、出勤回数等、考慮しながら検討していきます。

しちのへ秋まつり補助金及びしちのへ秋まつり台車修繕補助金について

問 澤田 公勇委員

コロナが収束傾向で、秋まつりを実行するとなった場合、計上されている補助金額で行うつもりか。

答 附田商工観光課長

まずは例年どおりの予算計上をしております。コロナが収束して秋まつりが開催となると3年ぶりの開催でいろいろ経費がかかるものと予想されます。実行委員会、財政課とも相談しながら進めたいと考えております。

町費負担臨時教員費 会計年度任用職給料について

問 佐々木寿夫委員

配置する学校と学級担任もさせるか。

答 鳥谷部学務課長

令和4年度の配置につきましては、県費の教職員の配置が決まってから検討いたします。また、部署、業務内容についても同様の考えですが、各学校長の判断で決定していただいております。

町特色ある学校づくり 推進事業費補助金について

問 山本 泰二委員

これまでの事業内容は。

答 鳥谷部学務課長

各学校の裁量において、教科指導以外の学習を行うために使っていたべく補助金です。例えば外部講師の謝礼金、文化芸術鑑賞のための経費などに使っていたいております。

七戸中学校桜剪定業務委託料及び天間林中学校クロマツ剪定業務委託料について

問 小坂 義貞委員

件数などの内容は。

問 山本 泰二委員

町民参加型で行ってはどうか。

答 鳥谷部学務課長

軽微なものであれば、用務員や教員で行っております。今回は本数も多く、薬剤散布も行う予定ですので、業者委託で計上しております。

生涯学習振興費 体験・郷土学習事業委託料について

問 中野 正章委員

事業内容は。

答 田中生涯学習課長

町の自然、文化、歴史産業を体験させ、町の新たな魅力の発見につなげたいということです。おもに1泊2日の宿泊学習を予定しております。

文化財保護費 用地購入費及び建物等移転補償費について

問 小坂 義貞委員

件数などの内容は。

答 相馬世界遺産対策室長

購入費及び補償費とも2件分、2名分でありま

住みよいまちづくりのために

町政のここが聞きたい



一般質問

3月定例会では、6人の議員から40件の一般質問がおこなわれ、プラスチック資源循環法や今後の稲作推進策についてなど、活発な議論が展開されました。

「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であり、年4回の定例会で行われます。

質問する議員も受ける執行機関も、ともに十分な準備が必要であるため通告制※が採用されています。

議員が行財政全般にわたり、事務の執行状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策の確認、変更、是正、あるいは新規の政策を採用させる目的と効果があります。

※通告制とは、発言等をする場合、あらかじめ議長に対し発言要旨などを記載した文書を提出することです。

ページ	質問者	主な質問項目
8	小坂義貞議員	<p>◎プラスチック資源循環法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック資源循環法が4月から施行されるが、当町の対応は。 <p>◎天間林道路全線開通について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天間林道路の全線開通予定は。 ・全線開通により、一般国道4号における当町区間の交通状況の見通しは。 <p>◎国道394号榎林バイパスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎林バイパスの工事進捗率と開通予定は。 ・開通後の町道とのアクセスと安全対策は。
9	佐々木寿夫議員	<p>◎8月豪雨における治部袋・向中野集落の災害対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸水被害に対するインフラ改修は、どのように行ったか。 ・浸水被害の原因は。 ・原因に対するインフラ整備対策について、県とどのような協議をしているか。 ・今回の被害から、今後の災害対策をどのように推進するか。 <p>◎出産祝金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の子どもの出生数について、ここ10年間の推移は。 ・出産祝金を10万円にする考えは。 <p>◎新型コロナウイルスの第6波感染拡大について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理飲食業者に支援をする考えは。 <p>◎水田活用の直接支払交付金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援内容や交付対象水田の見直しは、町の農業者にどのような影響を与えるか。 ・町は、今回の見直しについてどう考えるか。

ページ	質 問 者	主な質問項目
10	向中野 幸 八 議員	<p>◎集落案内の標柱の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内に標柱が設置された経緯と設置時期は。また、設置箇所数は。 ・老朽化により、特に根本部分の腐食が激しく、傾いたり、倒壊している箇所も見受けられる。今後の対応策は。 <p>◎ドクターヘリの離着陸場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離着陸場に指定されている場所数は。また、過去 3 年間における搬送件数は。 ・交通インフラが発達することにより、他町村からの搬送時、中継地点として当町を利用することが考えられる。離着陸場は、十分な数を確保しているか。 ・離着陸場に選定される際の基準は。また、今後、増やす可能性は。 <p>◎当町の特産品（アピオス、みよこ米）の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アピオス及びみよこ米について、過去 3 年間の生産農家数、面積及び生産量は。 ・年々生産量が減少傾向にあるが、対応策は。また、その支援は。 ・特産品として町内の学校給食に使用されているが、ふるさと納税返礼品として取り扱っていない理由は。
11	中 野 正 章 議員	<p>◎今後、米価低迷が予想されるなかでの稲作推進策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄米、飼料用米、輸出米、一般米それぞれの、今後の見通しは。 ・現状の水稻作付け規模と農家割合は。また、面積割合は。 ・「生きがいとしての農業」という観点から、小規模稲作をもっと重要視すべきではないか。 <p>◎有害鳥獣による被害の実態とその対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年の被害件数と出没件数は。（シカ、イノシシ含む） ・現状の猟友会だけで対応できるか。
12	畷 清 悦 議員	<p>◎民間病院の経営支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により受診を控えるなど、民間病院の経営も厳しくなっているようだが、当町の民間病院の経営状況は。 ・公平性という観点から、医療提供を行っている民間病院に対しても公立病院と同様に経営支援する考えは。 <p>◎公営塾の今後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営塾開設による入学者数の増加の効果は。また、利用者の満足度は。 ・七戸高校の魅力を高めても、入学希望者の増加は、通学可能な地域に限定される。七戸高校周辺で下宿あるいは一人暮らしをしながら通学できれば、地域に限定せず募集できる。雇用創出・地域活性化のため、そのような取り組みを推奨し支援する考えは。 <p>◎人事行政の運営等の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計当初予算に占める人件費の割合は、県内の同規模自治体と比較するとどのような状況か。また、その割合を低くするための方策は。
13	山 本 泰 二 議員	<p>◎体育施設の利用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町立屋内温水プール及び七戸体育館トレーニング室の町民の利用状況は。 ・町民のスポーツクラブ等への加入状況は。 ・町民の運動習慣の状況は。 ・施設管理経費及び利用料収入等の収支は。 <p>◎町民の健康状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の健康診断の受診状況は。 ・町民の生活習慣病及びその予備群の状況は。 ・現在、どのような形で町民に運動を促しているか。 ・運動施設利用や健康行動などに、NANAカードのポイントを付与し運動を促す考えは。

※一般質問は、制限時間50分、通告内容を1件ずつ発言して順番に質疑応答をしていく「一問一答方式」です。

4月施行のプラスチック資源循環法、 当町の対応は

小坂 義貞 議員



町長

自治体の役割は、排出・回収・リサイクル
今後も東北町、中部上北広域事業組合と協議し
ながら、分別の種類を増やし取り組んでいく

議員
プラスチックごみ等が道路などへのポイ捨てにより、台風や水害などにより、水路をとおして川や湖、そして最後に海へ流れつきます。そのプラスチックごみ等を魚や海鳥などが餌と間違っ

町長
この法律は、プラスチック製品に関する製造、販売、排出、回収など、それぞれの立場からプラスチック資源の循環を包括的に推進するための方針を定めており、自治体は、排出、回収、リサイクルについての役割を担うこととなります。

議員
プラスチックごみ削減のためには、これまで燃えるごみとしていたプラスチック製品を細かく分別して、リサイクルしなければなりません。

町長
今後、東北町、それから収集・処理の主体である中部上北広域事業組合と協議しながら、段階的に分別の種類を増やし、プラスチックごみ削減に取り組んでまいります。

議員
天間林道路の全線開通予定は、令和4年内に開通する予定となっております。

町長
上北自動車道の七戸インターチェンジまでが、平成31年3月に開通したことにより、国道394号や町道「石沢・後平線」などが、この天間林道路の代替路線として利用されており、すでに国道4号の渋滞緩和の効果は出ているものと考えております。

議員
全線開通により、一般国道4号における当町区間の交通状況の見直しは、

町長
また、完成予定も同様により、完成予定も同様により、完成とされております。

議員
現在、旧道は、傷んでいるところや危険な状態のところがあります。移管を受ける前に、そのような箇所を把握し、直していただきたいと思っております。

プラスチック資源循環法について

天間林道路全線開通について

国道394号榎林バイパスについて

開通後の町道とのアクセスと安全対策は。

佐々木寿夫 議員

8月豪雨における治部袋・向中野集落の浸水被害の原因は



町長

集落上流部で、河道の狭い区間や倒木・流木などが障害物となった場所からの越水、さらには護岸の決壊により氾濫

8月豪雨における
治部袋・向中野集落の
災害対策について

議員
浸水被害に対するインフラ改修をどのように行ったか。

町長

町では、水が引いたあと、町道上の泥や流木などを排除し、交通を確保するとともに、流失した生活道路の仮復旧を行いました。
また、路面が流された農道などは、地域住民の協力を得て、碎石の敷きならしをし、復旧いたしました。
さらに、床下浸水した家屋へは、消毒剤として消石灰を配布し対処いたしました。

議員
浸水被害の原因は。

町長

青森県が管理する中野川に起因したもので、集落上流部での河道の狭い区間や倒木・流木などが障害物となった場所から越水し、さらには護岸の決壊により氾濫し、浸水被害に至ったものと考えております。

議員

原因に対するインフラ整備対策について、県とどのような協議をしているか。

町長

青森県では、決壊した護岸部を公共土木施設災害復旧事業により、コンクリート護岸により復旧すると伺っております。なお、河道の狭い部分や浅い部分、あるいは雑木等、速やかに改善してほしいということ強く申し入れをしております。

議員

今回の被害から、今後の災害対策をどのように推進するか。

町長

今回の災害では、浸水想定区域外においても河川の氾濫が発生いたしました。今後の対策としては、消防団等からの情報提供や気象情報、道路状況など、速やかに情報収集し、対策本部の設置、住民への迅速な避難指示や緊急安全確保の発令など、関係機関と協力しながら対応してまいりたいと考えております。

出産祝金について

議員

町の子どもの出生数について、ここ10年間の推移は。

町長

平成23年度が102人、平成27年度が76人と、5年で約25%減少しています。直近の令和2年度が58人と、10年で43%の減少となっております。

議員

出産祝金を10万円にする考えは。

町長

出産祝金は、第2子に5万円、第3子以降に10万円を支給しておりますが、平成30年度に条例を改正し、

第1子から一律5万円を支給することとしております。10万円にすることについては、条例の改正効果を見極めたいことから、現時点では引き上げは考えておりません。

新型コロナウイルスの第6波感染拡大について

議員

料理飲食業者に支援する考えは。

町長

多くの事業者が厳しい局面にあることを踏まえ、「コロナに負けるな」という思いを込めて、町民1人に1万円の商品券を交付します。これは経済活動を後押しするといふものであります。また、事業者向けでありませんが、事業復活支援金という国の制度を活用するよう周知したいと思っております。

この二つを組み合わせ、対策をとっていききたいと思っております。

水田活用の直接支払交付金について

議員

支払内容や交付対象水田の見直しは、町の農業者にどのような影響を与えるか。

町長

農家に与える影響ですが、すでに農家は来期の資材や肥料等を手配しており、単価の引き下げは、来期の経営に大きく影響するものと思われまます。また、荒廃農地が増えることが懸念されます。

議員

町は今回の見直しについてどう考えるか。

町長

水田の転作ということではじめから畑ではない、転作の補助金であるため、ある程度の方向性として致し方ないものの、農家の経営計画に大きく影響するものと考えております。

町としては、国が農家の経営計画見直しの準備ができるように、もっと早い段階で方向性を示し、段階的に進める必要があったのではないかと思います。また、ある程度の激変緩和というのを国に対して強く要望していきたいと思っております。

向中野幸八 議員



集落案内の標柱について
根本の腐食、倒壊が見受けられるが

町長

設置から20年あまり経過していることから補修や撤去等を行いながら、安全対策を講じてまいりたい

集落案内の

標柱の管理について

議員
町内に標柱が設置された経緯と設置時期は。また、設置箇所数は。

町長

旧天間林村時代、村外の方々に、集落名がわかるようにと、平成12年度と平成13年度の2力年にわたり、76力所に設置しております。

議員

老朽化により、特に根本部分の腐食が激しく、傾いたり、倒壊している箇所も見受けられる。今後の対応策は。

町長

ドクターヘリの

離着陸場について

標柱の設置から20年あまり経過していることから、今後、その状態について点検をし、老朽化している箇所に関しては、補修あるいは撤去等を行いながら、安全対策を講じてまいりたいと考えております。

議員

当町におけるドクターヘリの離着陸場に指定されている場所数は。また、過去3年間に於ける搬送件数は。

町長

ドクターヘリの場外離着陸場は、11力所となっております。また、過去3年間の搬送件数について、中北上消防本部に確認したところ、七戸町管内では、令和元年20件、令和2年24件、令和3年14件の合計58件のこととあります。

議員

交通インフラが発達することにより、他町村からの搬送時、中継地点として当町を利用することが考えら

れる。離着陸場は、十分な数を確保しているか。

町長

ドクターヘリの場外離着陸場については、事故等の現場から最も近い場所が選ばれております。消防本部から確認したところ、現在の11力所で、対応は十分できているとのこととあります。また、冬期間については、青森県の運用基準によると、中北上消防本部管内に1力所、設定することが望ましいとされており。現在、当町に1力所、東北町に2力所、合計3力所が設定されていることから、対応は十分可能であると認識しております。

議員

離着陸場に選定される際の基準は。また、今後、増やす可能性は。

町長

青森県の運用基準によりますと、縦35メートル、横35メートル以上の広さを有していること。できるだけ平らな場所であること。周囲には15メートルを超える架線、配電線などの障害物がないこと。2方向に進入経路を確保し、250メ

当町の特産品
(アピオス、みよこ米)
の状況について

トル先までに14度以下の勾配が必要であることとなっております。引き続き、消防本部と基準を満たす場所について協議を継続し、随時、追加してまいりたいと考えております。

議員

アピオス及びみよこ米について、過去3年間の生産農家数、面積及び生産量は。

町長

アピオスについて、令和元年度13戸、2.4ヘクタール、9.1トン。令和2年度10戸、2.0ヘクタール、6.1トン。令和3年度9戸、1.6ヘクタール、8トンの見込みとなっております。次に、みよこ米について、令和元年18戸、24ヘクタール、109.8トン、令和3年13戸、20ヘクタール、73.6トンとなっております。

議員

年々生産量が減少傾向にあるが、対応策は。また、その支援は。

町長

経営所得安定対策の産地交付金において、アピオスを初め15品目の野菜や果樹についても、引き続き支援をしてまいりたいと考えております。

議員

特産品として町内の給食に使用されているが、ふるさと納税返礼品として取り扱っていない理由は。

町長

事業者からの要望があれば、支援も含め、柔軟に対応しております。みよこ米については、ほかの「まつしぐら」との差別化を図るため、パッケージの一新を計画しているというところであります。アピオスについては、アピオス焼酎などの加工品もあります。いずれも消費拡大、産地PRのため、JAゆうき青森には、ふるさと納税返礼品への登録を検討していただきたくと申し入れはいたしております。

中野 正章 議員



「生きがいとしての農業」という観点から 小規模稲作をもっと重要視すべきでは

町長

小規模稲作の方々も大切にしながら、
でき得るだけの支援対策はとっていきたい

議員

まずまず社会の閉塞感が深まるなか、昨年、予想を上回る米価下落がありました。それまで米価は、比較的順調な価格推移を見せていたことから、大規模稲作農家が増えてきたように感じていました。そういうなか、この米価下落のシヨックは大きく、そして今後の七戸町の稲作がどうなるのか大変不安に感じております。

今後、米価低迷が予想されるなかでの稲作推進策について

議員

備蓄米、飼料用米、輸出米、一般米それぞれの、今後の見通しは。

町長

令和3年産一般米「まつしぐら」の生産者概算金が大幅に下落しましたが、新聞報道等によれば、主食用米の在庫はこの5年間で最も多く、価格についてもまだ下げ止まってないのとことです。令和4年産についても、厳しい状況が続くものと考えております。

備蓄米については、JAによれば、1俵当たりの価格が、前年に比べ下がる見通しとのことであります。

飼料用米は、昨年までに複数年契約をしたもの限り、国は1万2000円から6000円へ、県は9000円から8100円へ減額での助成となり、新規取引分には助成がないことから、飼料用米への更なる転換拡大は採算性の問題から難しい状況となっております。

当町の輸出来は、世界的なコロナ禍により、昨年から3年間の複数年契約を結んでいる600トン、24名が引き続き生産されることとなります。

また今年度は、酒造メーカーからの加工用米の需要が500トンあるものの、

希望者全員が取り組める数量ではない状況であります。

米事業については、国の方針が非常に厳格化されてきており、なかなか見通しが立てにくい状況であるということが言えます。

議員

現状の水稲作付け規模と農家割合は。また、面積割合は。

町長

令和3年度実績によりますと、当町での水稲作付面積は2297ヘクタール、作付農家戸数704戸、10ヘクタール以上の大規模は30戸、909ヘクタールで農家割合4・3%、面積割合39・6%。2ヘクタールから10ヘクタール未満は、261戸、面積1027ヘクタールで農家割合37・1%、面積割合44・7%。2ヘクタール以下の小規模は、413戸、361・5ヘクタールで農家割合58・6%、面積割合15・7%となっております。



議員

「生きがいとしての農業」という観点から、小規模稲作をもっと重要視すべきではないか。

町長

「生きがいとしての農業」の観点から、小規模稲作は、多様な担い手づくりとして、農地や集落の維持のために、非常に重要であると思っています。まず、小規模の方々にも頑張ってもらわないと、地域社会、集落間の協調・連帯がうまく機能しなくなると思っております。こういった方々も大切にしながら、でき得るだけの支援対策はとっていききたいと思っております。

有害鳥獣による被害の実態とその対応について

議員

ここ数年の被害件数と出没件数は。(シカ、イノシシ含む)

町長

過去3年間の被害件数ですが、令和元年度は、リン

ゴ、デントコーンの2件、令和2年度0件、令和3年度は、桃1件の被害がありました。出没件数は、令和元年度15件のうち、シカ3件、イノシシ0件。令和2年度15件のうち、シカ1件、イノシシ2件。令和3年度9件のうち、シカ、イノシシともに0件となっております。捕獲件数は、熊の捕獲が、主にわなによる捕獲ですが4頭から5頭程度になっております。

議員

現状の猟友会だけで対応できるか。

町長

有害鳥獣による被害が、年1、2件と少ないため、現状の実施隊の対応で問題ないものと考えております。また、実施隊の体制ですが、20代、30代の若い隊員もいることから、今のところ問題ないと考えております。しかしながら県内では、ニホンジカやイノシシの目撃情報が増えてきており、実施隊の活動の維持のため、後継者育成に物心両面で支援していかなければならないと思っております。

一般質問

山本 泰二 議員



運動を促すきっかけの一つとして
NANAカードへのポイント付与は

町長

世を挙げて今、ポイント時代になっている
新たな健康ポイントの新設も良いと考えている

体育施設の
利用状況について

議員
健康には運動が欠かせません。体育館、野球場、サッカー場、テニスコートなどのスポーツ施設があるが主に高校生以上の町民の利用状況は。

教育長
令和元年度、七戸体育館の利用者は、1万8468人、野球場、サッカー場、テニスコートを含めた総合運動公園は2万468人です。

議員
運動は、適度な強度で定期的に行うことが望ましいということになっています。

水泳クラブ、野球、サッカークラブなど、町で把握している運動団体などはあるか。また、その人数は把握しているか。

教育長
令和元年度、町スポーツ協会に加盟している団体は21団体、加盟人数は808人です。平成26年度の数値と比較すると、約100人減少しています。なお、町スポーツ協会以外の任意団体の数や所属している人数につきましては、把握しておりません。

議員
競技を前提としたスポーツクラブでの活動状況では、町民の運動習慣についての把握は難しいと思います。健康診断時や家庭状況調査時などにおいて、町民の運動習慣の調査がなされているか。またはその必要性があると考えているか。

教育長
「仮称 七戸町総合アアリーナ」の建設基本計画を策定するにあたり、平成30年度に無作為に抽出した13歳以上の町民アンケートを行っており。その結果、

議員
運動施設運営は、町民の健康を考える上で、必ずしも収益の上がるべきものではありませんが、効率的な運営はされてしかるべきです。施設管理経費と利用料収入等の収支は。

教育長
令和元年度、七戸体育館総合運動公園、屋内温水プールの利用料金は、185万円、光熱水費などの経常的経費は3940万円となっております。

議員
今後、体育施設全体の利用料金の見直しを図りたいと考えております。

町民の
健康状況について

議員
自身の健康状態を把握するためには、健康診断の受診が必要不可欠です。町民の健康診断の受診状況は。

町長
町が実施している国民健康保険加入者を対象とする特定健診の受診率は、令和元年度43・3%、令和2年度33・6%、令和3年度は42%程度を見込んでおります。また、後期高齢者健康診査については、令和元年度26・9%、令和2年度22・9%、令和3年度は23%程度を見込んでおります。

議員
健康診断の結果から、町民の健康状況は、把握できているものと考えます。生活習慣病の対象者及びその予備群に対して、生活習慣の見直しを指導する必要はあるが、その人数は。

町長
令和3年度の特定健診の結果から、生活習慣病の糖尿病と高血圧の治療中の方は1385人、その予備群は1437人です。

議員
生活習慣病の改善には、食生活や酒、たばこの習慣、睡眠、ストレス、運動習慣の改善などが必要とされます。特に運動については、どのような方法で啓蒙を行

っているか。

町長
総合健診と七戸病院でドックを受診した方々に対し、結果説明会と事後指導を実施しております。その中で、日常生活でも取り組みやすく、長期において持続できる運動を促しております。

議員
運動を促すきっかけとして、運動を行った場合にポイントを付与し、景品や優遇などということも考えられます。運動施設の利用や健康行動等に対し、NANAカードのポイントを付与する考えは。

町長
NANAカードにポイントを付与する方法も一つの手段かと思えます。しかし現状では、町民へのNANAカードの普及状況、これを考えると、なじまないのではないかと思います。しかし、世を挙げて今、ポイント時代になっていきますので、新たな健康ポイントの新設も良いのではないかと考えております。

委員会 の 動き

◎総務企画常任委員会

開催日 令和 4 年 2 月 8 日
案 件 ① 要請事項に対する回答

内 容 ② 3 月定例会の各課懸案事項
① 要請事項に対する回答は、企画調整課長と財政課長より説明を受けた。

② 懸案事項は、関係課長より説明を受け協議した。

◎建設産業常任委員会

開催日 令和 4 年 2 月 9 日
案 件 ① 要請事項に対する回答

内 容 ② 3 月定例会の各課懸案事項
① 要請事項に対する回答は、農林課長、商工観光課長、建設課長、上下水道課長、農業委員会事務局長より説明を受けた。

② 懸案事項は、関係課長より説明を受け協議した。

◎文教厚生常任委員会

開催日 令和 4 年 2 月 10 日
案 件 ① 要請事項に対する回答

内 容 ② 3 月定例会の各課懸案事項
① 要請事項に対する回答は、学務課長、世

界遺産対策室長、社会生活課長、健康福祉課長より説明を受けた。
② 懸案事項は、関係課長より説明を受け協議した。

◎議会運営委員会

開催日 令和 4 年 2 月 15 日
案 件 ① 3 月定例会の会期日程等について

内 容 ・ 提出議案について、総務課長及び財政課長より提出議案等の説明を受け審査した。
・ 一般質問通告書について、6 名の質問内容等を審議した。
・ 陳情等の取り扱いについて、要望 1 件を資料配布することにした。
・ 予算審査特別委員会の運営方法について審議した。

・ 常任委員会の要請事項に対する回答について審議した。
・ 会期について、日程を審議した。

開催日 令和 4 年 3 月 4 日
案 件 ① 議案の追加について

・ 令和 3 年度七戸町一般会計補正予算（第 17 号）
・ 七戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
① 総務課長及び財政課長より追加議案の説明を受け、追加日程で審議することにした。

◎議会改革特別委員会

開催日 令和 4 年 3 月 1 日・8 日
案 件 ① 議員定数について

内 容 各種資料を基に、多角的に協議した結果、継続審査とした。

◎議会広報編集特別委員会

開催日 令和 4 年 4 月 5 日・13 日
案 件 議会だよりの編集

内 容 編集において、町民に読まれ、議会活動が伝わることを心がけ、第 68 号の編集作業を実施した。



編集後記

コロナ禍になって 3 年目、まさにウィズコロナという世情であります。そしてロシアによるウクライナ侵攻、ウクライナの人々の苦しみと悲しみの大きさは、計り知れないと思います。一日も早い終結を願うとともに、平和が一番大事だと再認識させられます。

議会広報編集特別委員会

委員長 山本泰二
副委員長 佐々木寿夫
委員 小坂義貞

春になり年度も替わりました。コロナ対応もしながら、何事にも前向きに取り
二ツ森 英樹
向中野 幸八
中野 正章